

# ひょうご

413

M I N - I R E N

2023.9.10

合併号



## 大阪から岡山へ平和への思いを継いで



核兵器禁止条約採択から6年になります。条約採択賛成122カ国、署名92カ国、批准68カ国になりますが、日本政府はいまだ批准していません。

7月7日“七夕”的日は、核兵器禁止条約が国連で採択された記念日です。そしてその日、“国民平和行進”が大阪から兵庫に引き継がれました。阪急川西能勢口駅前で宣伝署名行動を行い、10日間で兵庫県を走破するコースのスタートです。

尼崎～神戸～姫路と兵庫民医連事業

所のある街を経由しながら「海の日」と続く三連休中日の7月16日、大阪から引き継いだ平和のバトンは無事最終日を迎えました。

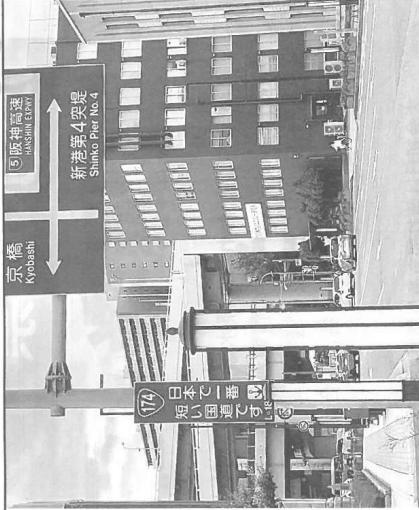
近畿地方の梅雨明け宣言はまだ出ていませんでしたが、上空はほぼ快晴。気温も34°Cと猛暑日に迫るJR赤穂線寒河(そうご)駅前で兵庫から岡山へバトンを引き継ぎました。午前9時に赤穂市役所を出発した一行は、岡山との県境にある兵庫県内最大の難所である鳥内峠を暑さと闘いながら、予定時間

より少々遅れましたが正午過ぎに県内通し行進者とともに寒河駅に到着。岡山からは30人を超える参加者が拍手で出迎えてくれました。少々時間が押していたこともあり簡単な引き継ぎを済ませた後、早速岡山県を西に向かって(太陽に向かって)日生駅方面に行進していきました。

いやはや近頃の年配の方はめっちゃお元気ですね…。

## 10

## 日本一短い国道



くそんなんに短いのになぜ国道?>  
国道の定義⇒「道路法では港湾法で規定された重要な港、建設大臣が指定する重要な空港、もしくは国際観光上重要な地を結ぶ道路を国道とする」という定義



歩けば2分ちょっとで走破できます。短いながらも11車線(北行6車線・南行5車線)もある基幹道路です。  
2002年神戸市が「日本一短い国道」の標識を掲げ、  
知る人ぞ知る観光名所になっています。

- Q1) 日本一短い国道は174号、では「日本一長い国道」は?  
Q2) 「フラーード」がある道路ができる前の前は?  
Q3) 神戸市役所南側にある「東遊園地」の名前の由来は?  
Q4) 初代兵庫県知事は誰?  
Q5) 元町にある「南京町」が今の場所にできた理由は?

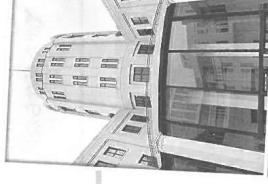
ちよつと雑学



ポスターーションについての説明動画

(<https://youtu.be/GfffrdWgy5U>)

QRコードかYouTube動画を視聴できます。ぜひ参考にしてください。



- A1) 「国道4号」※東京日本橋から青森市を結ぶ全長742.5km  
A2) 「旧生田川」※生田川は氾濫が多いため外国人居住地から多くのクレームがあり、1852年(明治5年)埋め立て完了、現在の場所に付け替えた。  
A3) 旧居留地に住む外国人専用の公園として1875年(明治8年)に開園した日本初の西洋式運動公園で、その場所が「旧居留地の東側にある」ため。  
A4) 「伊藤博文(1841～1909)」在職期間：1868年(慶應4年)～1869年(明治2年)の1年間。その後、初代・5代・7代・10代と4度の内閣総理大臣を務めた。1909年(明治22年)ハルピン駅で暗殺される(享年69)。  
A5) 1868年神戸港開港と同時に外国人居留地が現在の場所に設けられた。当時の清国の人々は居留地に住むことが認められなかったため、その西側の今の場所に住み始めたのが始まり。現在はほとんど店舗のみで住居は別になっている。

# 第48回兵庫民医連 学術運動交流集会 ～心に寄り添う医療と介護で 誰もが安心して暮せる未来へ！～



新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続のオンライン開催を経て、4年ぶりに集合開催が戻ってきました。バワーポイント動画による事前視聴は、「いつもどこでも・何度も・オンラインのメリットを生かすことが出来ましたが、ネット環境の不安定さやオンラインでの質疑応答の難しさ、リアル感の乏しさも実感しました。試行錯誤の連続でしたが、オンラインのメリット・デメリットを経験し次なるステップに進化(深化)していく2年となりました。

今年度は兵庫民医連創設70周年の記念講演を兼ねて集合開催とし、全ての演題をポスターセッションで開催します。そこそろ集合での熱量がほしいと思っていたみなさん、お待たせしました。日々の業務に追われながらもこだわって取り組んでいる研究や事例、活動を振り返りまとめ、報告するチャンスです。兵庫民医連で働くすべての職員と共同組織のみなさんの知恵と力を結集して、いのちが大切にされて輝く社会につながる、そんな運営を一緒につくっていきましょう。

2023年9月6日(水)～10月22日(日)

実行委員長 潑本 和雄

2024年2月12日(月・振休)  
10時～16時(予定)

神戸市産業振興センター

メインテーマ

兵庫民医連70周年!  
～心に寄り添う医療と介護で  
誰もが安心して暮せる未来へ！～

規模

700人

対象

民医連職員および共同組織、  
医療・介護系学生

企画概要

[午前]分科会(ポスターセッション)  
[午後]兵庫民医連創設70周年記念講演

演習登録期間

2023年9月6日(水)～10月22日(日)



▲第45回(2020年2月11日)ポスターセッションの様子

# 原水爆禁止2023年世界大会in長崎

## 被爆者とともに、核兵器のない平和で公平な世界を

例年3日間行われる「原水爆禁止2023年世界大会in長崎」は、台風6号の進路予測が大会期間中に最接近するとの情報があり、主催者側が大会の1日短縮を決定。8月7日(月)に開会式、8日(火)に分科会と最終日に予定されていた閉会式も1日繰り上げて行われ、兵庫医連からは32名（職員23名、組合員9名）が参加しました。

大会初日は晴れ間もあり酷暑の中で開会式に参加、2日目は次第に天候が悪くなる中、兵庫の皆さんのが折られた千羽鶴を長崎平和公園に奉納、その後各分科会（戦跡巡り、佐世保基地見学、核兵器廃絶運動など）に参加しました。私が参加した分科会は、プロダイバー・環境活動家の武本匡弘氏による「海の中から地球が見える～気候危機と平和の危機～」をテーマにした講演で、自ら操船したヨットで6年間で29,000キロ、航海日数は延べ270日間におよび体験のなかで、「正に太平洋はプラスチックのゴミだらけで『気候変動』による海・空・風かただらないことを伝えてくれた。」40数年

にわたり撮影し続けた水中映像と共に、「一人が何をしたらよいのか？」ということを考えさせられました。また核廃絶・平和への願いと共に、何より「知ることが希望」で「あらゆる軍事行動は平和を脅かすだけでなく、気候変動による地球の危機的な状況と軍事行動による環境破壊とは、その根の部分で同じ問題」で気候危機・温暖化への一番の悪影響である」という言葉が心に残りました。さらにすべての軍

事行動は最大の人命損失と環境破壊のみならず、大量のCO<sub>2</sub>を排出し地球温暖化を加速させるもので、その実態を辺野古基地建設やマーシャル諸島における核実験等を事例に認識を深めることができました。

大会に参加し、「生きているうちに核兵器廃絶を」「戦争で兵器を使用されたことのある唯一の国である日本にしか語れないことがある」との被爆者の願いと共に、「長崎を最後の被爆地に」と今回の参加者全員で心を一つにしました。

県連事務局 岡田 慎平



### 感想文より

● 被爆者からの心からの訴え、長崎の町を壊滅させた状況に胸を打たれました。核兵器を認めてはいけないということを、この緊張が高まる今だからこそ戦争がおこることのないように話し合っていかなければならぬと思いました。

● 多様な考えがある中、皆さんに伝えようとすることで共通することが『核のない世界を』、『平和な世界を』という事でした。

その気持ちが言葉や姿勢からもとても伝わってきました。自分が直接聞き聞けで感じたことをひとりでも多くの人に伝え、次世代に繋げていこうと強く感じました。

● 開会式では、海外や日本全国からの参加者で満員でした。高校生など若い人たちが多いことに驚きました。被爆者の先輩たちが築いた核なき世界の実現に活動が広がり、若い人が引き継いでくれている現状に感謝いたします。

● 私たちが被爆者の声を聞ける最後の世代なんだと実感し、この貴重な経験を語り継いでいくことが大切だと思いました。報告するだけでは終わるのではなく、今後の平和活動を広める手立てを考えていきたいと思います。



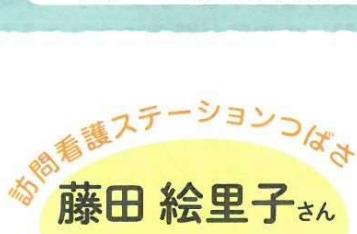


## 法人topics

神戸医療生活協同組合

連載コーナーです。

法人で“キラッと輝く”職員の、民医連で働き続ける理由や、こだわりを紹介します。



### 仕事でのこだわり、民医連で働き続ける理由

事務員として働いていた時、看護師数人が呼吸器をつけた患者様をベッドごと運び、お花見へ連れていく姿を見ました。「こんなこともできるんだ」と民医連ならではの看護に感銘を受けたのがきっかけで入職を決意し、今でもここで働き続けています。現在は訪問看護へ異動となりましたが、在宅看護においても無差別平等をめざし“人間らしくその人らしく生きる”を援助し、実践することは民医連だからこそできる看護であると感じています。

### 入職したきっかけ

24歳の時に看護師を目指すため看護学校入学の受験勉強を始めました。その頃に勉強をしながらアルバイトができる職場はないか探しており、求人で見つけたのが今の病院でした。事務員としてお仕事をさせて頂くうちに病院の雰囲気や民医連の看護理念に惹かれ、看護学校合格後に奨学生になりました。その後、無事に卒業し看護師として入職することができました。

### プライベート

現在1歳と3歳の子どもがおり、子育て奮闘中です。休みの日には子どもたちを連れて公園や博物館に行ったり、須磨海岸が自転車で5分ほどなので海へ遊びに行くこともあります。子どもの手が離れたら岩盤浴やジムに通い、一人のプライベート時間も楽しみたいです。

神戸医療生活協同組合

## 「住み慣れた地域・自宅で過ごしたい」 切実な思いを、全力で支援しています

訪問看護ステーションつばさ 大川 友枝

神戸市長田区にある「訪問看護ステーションつばさ」は、2023年8月より西区の「訪問看護ステーションにじ」と統合しました。目的は、訪問件数の増加と加算による事業収益の増加を図るために事業所を大型化し、地域の訪問看護事業所として24時間対応を行いながら在宅療養生活を支援していきます。急激な社会変化によって在宅ケアの対象者も増えており、重度化・小児・精神障害・認知症など多様化しています。また独居・高齢者世帯・老老介護・家族構成など、さまざまな生活環境があります。

神戸協同病院のコロナ病棟のあと、地域包括ケア病

棟を展開する中で、在宅患者さんを増やしていく計画です。法人内のクリニック・診療所の外来や訪問診療へつながる患者さんを、訪問看護ステーションつばさで訪問できるようにします。法人内の医療機関を利用している利用者さんの他にも、「駒どり」「クリエイト」と協力し介護分野からの利用者さんの確保を行います。

地球温暖化の影響で毎夏猛暑となっています。そんな中、訪問看護は体力勝負！暑さに負けず、寒さにも負けず笑顔と元気を届けに365日・24時間、自転車・バイク・車で走り回っています！！！

